

「歴史の里」基本計画

《概要編》



名古屋市教育委員会

計画策定の背景

<志段味古墳群の特徴>

- ① 狭い範囲の中に、古墳時代を通じて、それぞれの時期の特徴をもった古墳が造られている。
- ② 古墳の形も、前方後円墳だけでなく、帆立貝式古墳、円墳、方墳とバラエティに富んでいる。
- ③ それぞれの古墳が東谷山山頂、山麓、河岸段丘というこの地の地形をいかして造られている。



時期・形・立地など多様な古墳の特徴を見ることができる志段味古墳群は、日本の古墳時代の縮図とされています。



対象地区の概況

歴史的環境

上志段味に人がはじめて登場するのは、1万年以上前の旧石器時代の終わり頃です。5000年くらい前の縄文時代の中頃になると、縄文土器の破片などが見つかっていることから、人々が生活した跡が見てとれます。つづく弥生時代は人々が生活した跡はほとんど見られませんが、1700年前の古墳時代になると多くの古墳が造られはじめました。

自然的環境

上志段味の東端に位置する東谷山は名古屋市内で最も高い山で、東谷山の西麓から庄内川にかけては、河岸段丘と呼ばれる階段状の地形が広がっています。上志段味は、名古屋の都心部からわずかに離れた距離にありながらも、豊かな自然環境が残っており、緑と水と段丘によって形成された変化に富む景観が広がっています。



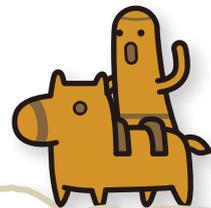
社会的環境

上志段味では、現在上志段味特定土地区画整理事業が進められており、低～中層住宅が多く建設されています。一方で、古墳などの歴史的建造物と伝統的な人々の営みが一体となった「歴史的風致」の維持向上を図る重点地域(※)として、また自然環境の保全地区としても位置づけられています。

※「名古屋市歴史的風致維持向上計画」は、平成26年2月14日に国の認定を受けました。



基本理念・基本方針



<基本理念>

古代ロマンを五感で体感 ～「学び」と「にぎわい」のある地域づくり～

<基本方針>

《古墳群と自然地形・景観の文化財としての保存活用に関する基本方針》

貴重な文化財、自然環境の保存

歴史・文化の体感・体験

《地域全体のにぎわいの創出・まちづくりに関する基本方針》

過去と未来をつなぐ
歴史・文化の拠点づくり

市民と連携し、
協働する仕組みの形成

導入すべき機能

見る

- 古墳の保存
- 出土した文化財の展示



《展示室イメージ》

聞く

- 古墳見学
- 講演会



《古墳見学イメージ》

触れる

- 市民発掘調査
- 体験学習



《市民発掘調査イメージ》

味わう

- 産直市
- 古代風レストラン



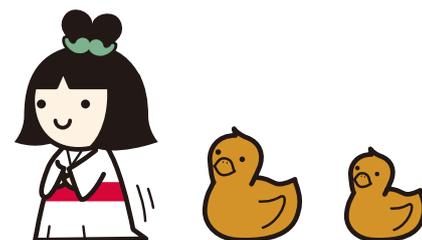
《レストランイメージ》

嗅ぐ

- 古代の生活のにおい
- 自然のにおい



《イノシシ作りイメージ》



情報の拠点機能

- 文化財の情報提供
- 古墳の情報提供

調査・研究、地域活動機能

- 調査・研究
- 地域活動

環境配慮機能

- 環境に配慮した設計設備
- エネルギーの効率化

利用・整備計画

1700年の時を経て今も残る志段味古墳群を将来にわたって大切に残していくために整備を行います。整備にあたってはこれまでの調査研究の成果に基づいてそれぞれの古墳の持つ価値を最大限に引き出すとともに、訪れる人にとって分かりやすく、楽しみながら志段味古墳群について学ぶことができるように配慮し、大切な文化財を守り伝えていく機運の醸成を図っていきます。

西のエリア

初めて歴史の里を訪れる方を対象として、勝手塚古墳から志段味大塚古墳を始めとする大塚・大久手古墳群までを「西のエリア」とします。

西のエリアから巡る初心者コース(3時間～半日)

勝手塚古墳地区→大塚・大久手古墳群地区(→国史跡白鳥塚古墳地区→東谷山白鳥古墳地区)

<勝手塚古墳地区>

勝手塚古墳(帆立貝式古墳/6世紀初め)

志段味古墳群の中で3番目の大きさを誇る古墳で社の境内にあります。出土した円筒埴輪は6世紀初め頃のもので、この頃尾張全域の古墳で使用された「尾張型埴輪」です。



(勝手塚古墳 整備イメージ)

墳丘の高まりだけではなく、周濠や周堤も残り、現在も古墳が造られた当時の様子がよくわかります。勝手塚古墳地区は歴史の里の「西のエントランス」と位置づけ、歴史の里の入口であることを印象づける大型モニュメントを設置し、古墳時代へ足を踏み入れたことを実感できるような場所とします。



<大塚・大久手古墳群地区>

志段味大塚古墳(帆立貝式古墳/5世紀後半)

今から約90年前の大正12年に京都帝国大学の梅原末治氏らによって発掘調査が行われ、豊富な副葬品が出土したことから、5世紀後半の代表的な古墳として全国的に知られています。近年の調査では、水鳥や鶏などの埴輪も出土しています。

東大久手古墳(帆立貝式古墳/5世紀末)

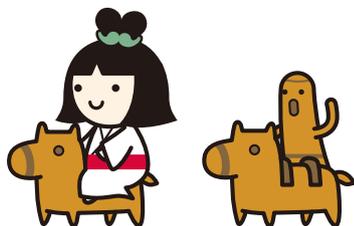
後円部の平坦部に埴輪が間もなくびっしりと並べられており、170本もの埴輪があったと推定されています。

西大久手古墳(帆立貝式古墳/5世紀中頃)

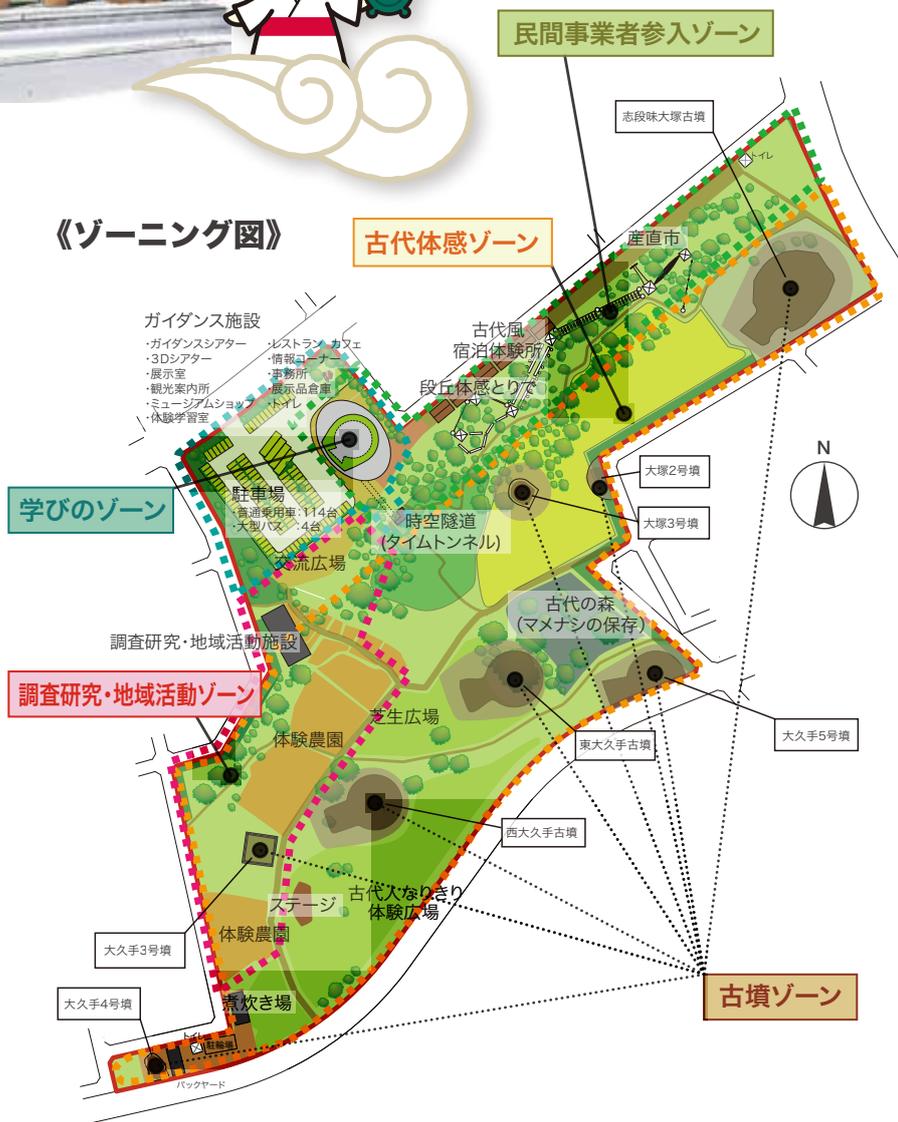
衣服や首飾りが特徴的な巫女の形をした埴輪や、鶏形埴輪、馬形埴輪が出土しています。巫女形埴輪は東日本で一番古いもので、当時最新の埴輪祭祀を取り入れたものです。

大久手5号墳(帆立貝式古墳/5世紀後半)

古墳の平坦部に埴輪が間隔をあけて立て並べられていたことがわかっています。



《ゾーニング図》



古墳ゾーン

さまざまな特色をもった古墳が段丘上に集中して造られていることを体感できるようにします。



《志段味大塚古墳 整備イメージ》



《東大久手古墳 市民発掘調査体験イメージ》

全国的にも有名な志段味大塚古墳は築造当時の姿に完全復元し、西大久手古墳は出土した巫女形埴輪などの全体像を復元したレプリカを設置します。また、東大久手古墳は学芸員の指導のもと市民参加により古墳の発掘調査を体験できる貴重な機会を創出します。

古代体感ゾーン

古墳を間近にした場所で、古代の営みを体験することで、古代人になりきって歴史が学べるようにします。



《イノシシ汁イメージ》



《火おこし体験イメージ》

体験メニューとして、古代米やイノシシ汁の煮炊き体験や弓矢を使った狩猟体験、古代風衣装をまわって古代風テントに宿泊し、古代の営みを体験する宿泊体験などを用意します。また古代からこの地域に残るマメナシをはじめとする古代にまつわる植物を観察する古代の森探検も行います。

学びのゾーン

段丘下のスペースに歴史の里を総合的に紹介するガイダンス施設を設置します。最新技術を駆使して古墳造りの様子を映像で紹介したり、埴輪作りや勾玉作りなどの古代のものづくり体験、古代米を使った古代定食による味覚体験など楽しみながら志段味古墳群の400年にわたる歴史をより分かりやすく知ることができる工夫をします。



《時空隧道イメージ》



《3Dシアターイメージ》



《体験学習室イメージ》



《埴輪作りイメージ》



《産直市イメージ》



《カフェセットイメージ》

《全体整備図》





調査研究・地域活動ゾーン

地域のお祭り、近隣の保育園・幼稚園などのイベントの会場として広場を利用できるほか、歴史の里ボランティアの拠点、市民発掘による調査研究の拠点、地域活動の拠点として利用できるようにします。



【地域のお祭りイメージ】

民間事業者参入ゾーン

段丘下の部分は広く民間事業者の参入を促し、エンターテインメント性と収益性のある事業を展開することで、歴史の里が単に歴史を学べるだけでなく観光スポットとしても利用される施設としていきます。



【段丘スライダーイメージ】

東のエリア

歴史の里に2度、3度訪れるリピーターの方を対象として、国史跡白鳥塚古墳から東谷山白鳥古墳、東谷山山頂3古墳までを「東のエリア」とします。

東のエリアから巡る上級者コース(半日~1日)

国史跡 白鳥塚古墳地区→東谷山白鳥古墳地区→東谷山山頂3古墳地区(→大塚・大久手古墳群地区)

<国史跡 白鳥塚古墳地区>

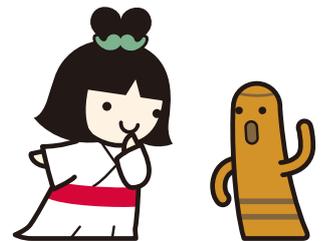
国史跡 白鳥塚古墳 (前方後円墳/4世紀前半)

志段味古墳群最大の古墳で、県内でも3番目の大きさを誇ります。志段味古墳群のなかで最初に造られました。石英が墳丘斜面に大量にまかれており、その白く輝く姿から白鳥塚古墳と呼ばれるようになったといわれています。



(白鳥塚古墳 整備イメージ)

墳丘の高まりなどが良好な状態で残っています。白鳥塚古墳地区は歴史の里の「東のエントランス」と位置づけ、志段味古墳群最大の古墳の圧倒的なスケールを体感できるように、古墳の墳頂に登ったり、散策することができますようにします。また、立体模型により造られた当時の姿を再現します。



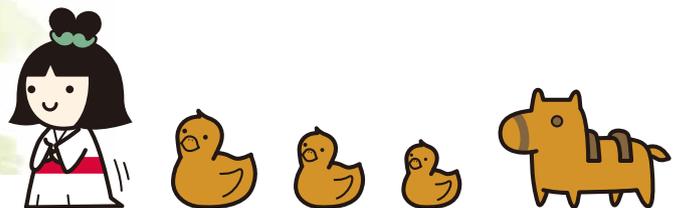
<東谷山白鳥古墳地区>

東谷山白鳥古墳 (円墳/6世紀末)



(東谷山白鳥古墳 整備イメージ)

東谷山白鳥古墳は、東谷山麓に50基の円墳が集まる尾張最大規模の群集墳の一つで、市内で唯一完全な形で横穴式石室が残っています。ガイドの案内のもと、横穴式石室のなかに実際に入ることによって埋葬施設の広さや高さを感じることができ、石で組まれた石室の内部の様子を見ることができるようになります。



<東谷山山頂3古墳地区>

尾張戸神社古墳 (円墳/4世紀前半)

中社古墳 (前方後円墳/4世紀中頃)

南社古墳 (円墳/4世紀中頃)



(東谷山山頂 整備イメージ)

東谷山の山頂からのびる尾根上に3つの古墳が連なって造られています。尾張戸神社古墳は白鳥塚古墳とともに志段味古墳群で最初に造られた古墳で、古墳の上には尾張氏の祖先神を祀る尾張戸神社が鎮座しています。中社古墳では東海地方で最も古い円筒埴輪が極めて良好な状態で出土しています。3つの古墳は誘導・案内サインにより散策スポットとし、中社古墳は埴輪が立て並べられた当時の様子を部分的に再現します。また、尾張戸神社古墳の横の展望台からは、志段味古墳群を一望でき、古墳群が変化に富んだ地形の上に造られていることを体感できるような仕組みをつくります。

スケジュール

年度		25	26	27	28	29	30
基幹工程		基本計画 基本設計	実施設計(古墳・緑地) ガイダンス調査	実施設計(ガイダンス) 整備 一部供用開始	整備 一部供用開始	整備 一部供用開始	供用開始
ハード整備	名古屋市 勝手塚古墳地区 大塚・大久手古墳群地区 (中核的拠点地区) 国史跡白鳥塚古墳地区 東谷山白鳥古墳地区 東谷山山頂3古墳地区	計画策定	設計 調査	整備			フルオープン
	民間事業者	連携	ヒアリング	整備(民間施設)			
	市民	意見					
ソフト整備	名古屋市	普及PRイベント					
		連携	供用後の体験メニューなどの試行				
			サイン・展示・映像コンテンツの企画				
	民間事業者		利用メニューなどの企画				
			サイン・展示・映像コンテンツの製作				
	市民		「歴史の里」マイスターなどの参画				
			市民参画による企画公募や名称公募など				

広報計画

- チラシやパンフレットによるPRと連携したウェブの活用、体験イベントの開催やマスコットキャラクターによる出張PR、ご当地グッズの販売、マスメディアを活用した広報などメディアミックスにより効果的な広報を実施します。
- 将来の利用者となる保育園・幼稚園児や現在のターゲットである小学生、観光での来訪を期待する若い世代、生涯学習の場として利用する高齢者、歴史や古墳の研究を行っている方など幅広い層をターゲットにした広報を実施します。
- 歴史の里がある守山区界隈はもちろんのこと栄や名古屋駅前などの繁華街でのPR、春日井市、尾張旭市、瀬戸市、多治見市など近隣市町村と連携したPR、全国のお古墳関連施設と連携したPRなど広範囲にわたる広報を実施します。
- 英語・中国語・ハングル・スペイン語・ポルトガル語・フィリピン語の六カ国語によるパンフレットを作成するほか、中部国際空港でのPRや古墳の案内看板への外国語表記など国内だけでなく海外からの観光客も視野に入れて広報を実施します。

管理・運営計画

- ① 貴重な文化財、自然環境を確実に保存します。
- ② 歴史・文化を楽しみながら体感・体験学習できる機会を提供します。
- ③ 発掘調査・研究成果と連動したプログラムを実施します。
- ④ さまざまなボランティアの参画を促します。
- ⑤ 快適性・利便性の向上に努めます。
- ⑥ 民間事業者の参入によりコストの低減やサービスの向上に努めます。
- ⑦ 環境に配慮した設備を導入します。

- 本編の閲覧……計画の本編は、下記の場所や名古屋市公式ウェブサイトでご覧いただけます。

【閲覧場所】

区役所(情報コーナー)、支所、生涯学習センター、市民情報センター(市役所西庁舎1階)、教育委員会事務局文化財保護室(市役所東庁舎6階)

- 問合せ先……名古屋市教育委員会事務局 文化財保護室

■電話番号:052-972-3268 ■ファクス番号:052-972-4178

このリーフレットは古紙パルプを含む再生紙を使用しています。